

平成29年度 第3回恵庭市社会福祉審議会

高齢者福祉・介護保険専門部会 会議録

1. **開催日時** 平成29年11月8日（水） 15時00分～16時00分

2. **開催場所** 恵庭市役所 3階 第2・3委員会室

3. **出席者**

【出席委員】 西根委員、島田委員、中村委員、高畠委員、海老委員、米地委員、
村松委員、原田委員、関田委員・・・・（計9名）

【欠席委員】 伊藤委員

【傍聴者】 0名

【報道関係】 0名

【事務局】 保健福祉部長、保健福祉部次長、保健センター長、
介護福祉課長、介護福祉課主幹、保健課長、
介護福祉課：指導担当主査・スタッフ、高齢者相談担当主査
保 健 課：介護予防精神保健担当主査
（計10名）

4. **内 容**

（1）開会

（2）保健福祉部長 挨拶

（3）審議事項

■ 第7期恵庭市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の素案概要について

1. 高齢者の現状と将来推計について
2. 各種調査の分析結果について
3. 第7期計画の基本理念と基本目標案について
4. 総事業費の見込みと保険料について

（4）報告事項

■ 地域包括支援センターの委託事業者の公募について

■ その他

【以下、審議事項 4 件の概要】

■ 第 7 期恵庭市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の素案概要について

1. 高齢者の現状と将来推計について

- ・現在の国・北海道・恵庭市の総人口及び高齢者人口・高齢率や、今後は人口減少傾向、高齢化率の上昇が見込まれることについて推計を用いて説明を行なった。
- ・第 7 期計画の策定には、現在、平成 27 年国勢調査に基づく推計人口を基本とし、修正を行い、本市の実態に近い推計値として、計画の策定をとりすすめている。
- ・なお、人口及び要介護等認定者数の推計は、現在、本市企画振興部においても、平成 27 年国勢調査に基づき、恵庭市人口ビジョンデータの更新を図ることとしている。
- ・それによれば、現在進めている「住宅団地整備事業」や「市街化区域内の宅地化」、また「移住施策」などの取組み状況を総合的に勘案し、本市の人口のピークは平成 32 年と見込んでいることから、今後、第 7 期介護保険事業計画においても、若干の修正が必要となる場合がある。

2. 各種調査の分析結果について

- ・在宅介護実態調査、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について説明。地域活動への参加意向や状況、日常生活上の不安や困りごと（「除雪」「健康や病気、介護」「食事の確保や料理」）などの回答について紹介。
- ・これらの調査から、高齢者の「社会参加」や「社会的役割を持つ」ということが、高齢者の生きがいや介護予防に繋がること、また、軽度な生活支援の必要性が増加しており、多様な主体が、生活支援や介護予防サービスを提供していくことが、期待されていることから、高齢者を始めする、地域住民の力を活用していくことが重要であると説明。

3. 第 7 期計画の基本理念と基本目標案について

- ・各種調査から抽出された基本方針から、キーワードを選出し、恵庭市総合計画との関連を表した。
- ・基本理念としては、第 6 期計画までの考え方を継承しつつ、本市における地域包括ケアシステムの一層の推進に向けたものとして「案」を作成。
- ・基本目標においても、本市総合計画及び、上記基本方針をもとに「案」を作成。
- ・第 7 期計画における重点施策として、第 6 期計画から培ってきた既存事業の継続を基本的な考えとしながら、これから迎える 2025 年を見据えて、既存事業の編成を行ない、下記施策を基本目標とする。

- 「地域における介護体制の充実（居宅系・地域密着型サービスの基盤整備、人材確保及び資質の向上、介護保険料の減免・軽減）」
- 「在宅生活を支えるサービスと地域ケア体制の充実（介護予防・日常生活支援総合事業の充実、在宅医療・介護連携の推進）」
- 「社会参加・生きがいきり活動の推進（介護支援ボランティアポイント制度の推進）」
- 「恵庭版地域包括ケアシステムの深化・推進（一般介護予防事業の推進）」
- 「認知症施策の推進」

4. 総事業費の見込みと保険料について

- ・第6期及び第7期保険給付費等の実績と見込みについて説明。
- ・ここまでの資料説明の総括として、第1号被保険者数は平成29年から平成32年で1,334人増加すると見込まれ、認定者数は400人増加すると見込まれている。認定者数の増加や事業所数の増加、各事業の充実により、総事業費は約30億円増加すると見込まれている。
- ・以上の数値より介護保険料月額基準額を算出することになるが、今後、年度内に介護報酬の改定内容が示される。その影響を踏まえ、今後最終推計を行うことから、介護保険料月額基準額も現在の4,800円より変動することが考えられる。ただし、現時点では、大幅な上昇はないものと想定している。

【以下、報告事項2件の概要】

■ 地域包括支援センターの委託事業者の公募について

- ・「きた包括支援センター」を運営している法人より、次年度以降の運営業務受託の辞退について申し入れがあった。このことから、新たに1ヶ所、恵庭市と委託契約を結び地域包括支援センターの設置運営を受託する法人を公募することを報告。

■ その他

- ・介護予防支援業務の一部委託について、中島・恵み野地域包括支援センターより2件の届出があったことを報告。

～ 次ページから【質疑・意見】 ～

【質疑・意見】

■ 第7期恵庭市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の素案概要について

(委 員) 1. 高齢者の現状と将来推計について

現状と将来推計について説明いただいたとおり、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる、平成37年度(2025年)には高齢化率が30.0%と見込まれている。当方も団塊の世代として、これからは介護予防の取組が重要とされるのではと考える。

(委 員) 2. 各種調査の分析結果について

P5に記載されている「第7期計画の策定において、国から新たに提示された基本方針では「人材確保及び資質の向上」は任意的記載事項とされており、…」とあるが、介護の現場では、人材不足に悩む事業所が多いと思われる。任意的記載事項ということは、「人材確保」には焦点を当てないということか。

(事務局) 国の基本方針では、計画策定において「人材確保及び資質の向上」については、記載することを「任意」としているが、後ほど、第7期計画の基本目標でも示しているとおり、恵庭市においても「人材確保及び資質の向上」について取り組んでいく。

また、「人材不足」については全国的にも問題になっている。各市町村レベルではできることが限られるため、広域的な取組が求められている。その中で市町村として、どこまで具体的な取組ができるかが問われている。国では「医療介護総合推進法」が制定され、都道府県に基金が設置されている。北海道において、その基金を活用した人材確保に向けた様々な事業が示されている。恵庭市においてもこれらを活用して、取り組んでいきたいと考えている。

(委 員) 3. 第7期計画の基本理念と基本目標案について

3点質問。

- (1) P12の各調査結果から抽出された課題の中で、「軽度な生活援助の充実」と「在宅生活を中心とした、本人が外出するための手段及び環境整備」については、どのようなやり方で実施するのか。
- (2) P15の「特定施設入居者生活介護の整備」について、新設の整備なのか、既存のサ高住や有料老人ホームの転換を考えているのか。
- (3) 人材確保について、昨今労働人口が減少している中で、外国人労働者の取り扱いがテーマになっている。法人単体の努力では困難な部分もある中で、自治体としての取組の可能性はあるのか。

- (事務局) (1) について、実施方法については、総合事業でのサービス提供を想定している。
- (2) について、特定施設入居者生活介護の整備は、新規整備・既存施設の転換どちらかに限定していない。特定施設の指定は、北海道の計画との整合性の関係から北海道との協議を踏まえて決定していく。
- (3) について、先ほどもご説明したとおり、人材確保における施策は、市町村単体レベルの施策では思うように力を発揮することが困難であるとする。現時点では、国・北海道の施策・財源を注視・活用しながら、事業所へ情報提供しているところ。他には、介護事業所の関係団体からの要望を取りまとめ、全国市長会等へ要望していくことはできるのではと考える。

■ 地域包括支援センターの委託事業者の公募について

- (委員) 委託事業者が辞退した理由について教えていただきたい。
今回、急に辞退されて驚いた。
地域包括支援センターの業務は、10年前と現在では業務の中身が違う。
高齢者に関する総合相談を請け負うセンターとして、事業者が頻繁に変わることになると思う方が一番困ると考える。
委託契約の仕様や単価について再考する考えはあるか。
- (事務局) 辞退された理由として、職員の退職に伴い、今日の人手不足の中、新たな職員を補充することができるかが不明であること。次年度までに職員を補充することを確約することができないため、辞退された。
また、委託内容については、今年度の当初から委託契約の仕様や単価などの内容について、検討していた。現在も予算要求時期であり、地域包括支援センターの職員の方々の処遇改善に繋がるよう検討中である。

(5) 閉会

(会長) 他に意見等がないため、これにて閉会とする。

5. その他

次回、専門部会の開催日程は12月20日(水)午後～ 予定。

以上